

申請者	学科名	デザイン工学科	職名	准教授	氏名	児玉 由美子
調査研究課題	岡山県 芸術・科学・教育・福祉多層構造システムによるソフトミュージアム構想 地域の母親のための教育講演会と上記記録集発行					
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	児玉 由美子	デザイン学部准教授	環境芸術	企画 実施	
	分担者	岡崎 順子	保健福祉学部教授	幼児教育	教育講演会実施	
調査研究実績の概要	<p>2016年2月20日に 宇津崎光代様の 講演会を実施した。 近年問題になっている少年問題を建築の間取りから解決しようと取り組んでいる宇津崎光代様を講師に呼んだ。 地元住民など20名が集まった。 当初 五感教育との連携での講演会であったが 講演者の佐藤豊子様 が 腰の骨を痛めて動きがとれずぎりぎりまで待ったが 断念した。 宇津崎様は 建築に新しい教育的視点 「住育」という考えをもたらした。 地域での大家族向けのリフォームなどで実践されてきた。 岡山での事例もある。 本学建築科へのあたらしい可能性を示唆したと思う。 しかし課題もある。氏の言う住育の概念が高齢者 家族にとって住空間がどうあるべきかという教育心理学福祉などの分野の基礎研究がないということだ。 提案はよいが 裏づけがないまま工務店としてのビジネスの成功に結びつけてしまうため、たんなる工務店連合の営業になってしまっている点が問題だ。 しかし多くの人たちに支持されているのも事実で 大学もこうした建築の間取りと周辺の問題を取り上げて研究することは重要ではないか と考える。今後の展開に期待したい。 佐藤豊子様とは何度も打ち合わせを重ねてきたが本学での講演が実現できず残念であった。</p>					
成果資料目録	チラシ					

地域貢献への
反映を踏まえて
記述のこと